遠心機点検報告書

KUBOTA

納入先	山口大学医学部附属病院 血液検査室			点検日	2026年10月08日
遠心機本体	MODEL 4000	SER.NO.	QY6313	点検者	塩田 幸久
ロータ	型式 ST-722M	SER.NO.	QY3592	ご承認印	塩田
	血液－C－1		055-0880		

点検項目	点検内容	点検結果
モータ	防振関係のボルト、ナットの緩み	✓
	ブレーキの異常有無	✓
	モータカバーゴムに異常は無いか	✓
	異常音の有無	✓
	シャフト、ドライブピンに異常は無いか	✓
	ワンタッチホルダに異常は無いか	
回転制御	回転数のずれを確認(±100rpm以内) ※KA-2200 セロマチックロータ (2,900～3,200rpm以内) RS-110Lロータ (4,600～4,800rpm以内) ロータ型式：ST-722M 設定回転数 3,500 rpm 測定値 3,500 rpm	✓
タイマ	5分(※1分)計測時の誤差(± 2 秒以内) 測定値 5 分 00 秒(※KA-2200は1分設定)	✓
インバランス	インバランス停止機構が動作するか	✓
ヒューズ サーキットプロテクタ	変形、変色	✓
電源 (103V)	ナイフスイッチ/コンセントの発熱有無	✓
	パワースイッチ端子部の発熱有無	✓
	アース端子の接続	✓
絶縁	絶縁抵抗(500V絶縁抵抗計5MΩ以上)	✓
チャンバ蓋	蝶番、ガススプリングに異常は無いか	NR
	回転中の蓋のロック、停止時の蓋のロック解除	✓
	インターロック蓋スイッチ	✓
外観	外観の異常有無	✓
パネル操作	各つまみ、キーは正しく操作できるか	✓
水平	ロータ上部にて水平点検	✓
	アジャスタの緩み	

点検項目	点検内容	点検結果
ロータ バケット	ロータ、バケットの腐食やクラックの有無	✓
	ウィンドシールドの腐食やクラックの有無	
	バケットはスムーズに振り上がること	✓
	固定ボルトは確実に締め付けられていること	✓
	ロータ蓋・ツマミ・Oリングの変形や劣化、ネジ部の摩耗、シールドカバー・シーリングキャップの変形やパッキンの異常は無いか	
	中心穴、中心金具、ドライブピンに異常は無いか	✓
	ロータ(バケット)の耐用年数の超過(納入後7年以上)	SE
	ロータ(バケット)の耐用回数の超過	✓
ジョイント	シャフト、ドライブピン、クラウンに異常は無いか	
	異常音の有無	
チャンバ	チャンバエッジゴムに異常は無いか	✓
	水、ごみ等の溜まり、ドレンホースの詰まり	✓
温度制御	温度の誤差 (± ℃以内) 表示値/測定値 ℃ / ℃	
冷凍機	ラジエータが目詰まりしていないか点検と清掃	
	ファンの回転状態	
	冷却能力テスト(設定4℃) ロータ型式 回転数 rpm	
ロータ固定ボルト	ロータ固定ボルトの締め付け最終確認	✓
度数計	86727 回	積算時間計 14331h

記号	内容	記号	内容
✓	点検結果正常です	RL	部品を交換しました
AD	調整しました	SE	納入後7年以上経過
UC	未接続	NR	修理が必要です
	適用外項目	交換	至急交換が必要です

所見 NR：ガススプリングの劣化により、チャンバ蓋の開きが悪い状態です。改善するにはガススプリングの交換修理が必要です。
・SE：ロータ・バケットの耐用年数を超過しております。早めの交換を推奨いたします。

4000は製造終了機です。修理部品の提供は最長で2028年3月末迄の為、更新をご検討ください。

納入後7年経過したロータ(バケット) は腐食発生や金属疲労による事故防止のため、早めに交換することを推奨いたします。
部品の交換をおこなわず事故が発生しても弊社では責任を負えません。

上記のとおり遠心機の点検を行いましたのでご報告申し上げます。

久保田商事株式会社

Ver1.0